

2021.1.23 (土) 14:00~15:30

於：大田文化の森 ホール

記念館講座 ～龍子・熊谷恒子・山王草堂・尾崎士郎記念館の学芸員による講演～

## 令和2年度第2回「川端龍子／青龍展に見る龍子の交流」

大田区立龍子記念館 学芸員 木村 拓也

### ■川端龍子の制作活動

1885 (M18) 年 6月6日、和歌山市に生まれる (本名：昇太郎)

1913 (T2) 年 渡米、帰国後に日本画家に転向

1915 (T4) 年 30歳の時、再興第2回日本美術院展に入選。その後、院展の花形として活躍

1929 (S4) 年 院展脱退した翌年、自らの美術団体青龍社を設立

1945 (S20) 年 自宅が戦災に遭ったにも関わらず、終戦2か月後に第17回青龍展を開催

1963 (S38) 年 文化勲章受章と喜寿を記念し、龍子記念館を設立

1966 (S41) 年 4月10日 80歳で逝去。青龍社も龍子の死とともに解散する。

### 1. 昨年のコロナ休館中に、2,000枚あまりの名刺から龍子のもとを訪れた人物を調査！

- ・大半は青龍展の取材にきた新聞、雑誌の記者や美術評論家  
なかでも、美術評論家・横川毅一郎、木村重夫、菊地芳一郎、河北倫明は重要な人物
- ・画商や画材屋のほか、青龍展や個展の会場となった百貨店関係者  
高島屋・飯田直次郎、新一、三越・岩瀬英一郎、伊勢丹・小菅正造、大丸・井狩彌治郎

### 2. 龍子の転機に関わった人物

#### ■深川正一郎 (俳人、1902-1987)

高濱虚子に師事。ホトトギス同人で、1949年に俳誌「冬扇」を創刊。1987年には、ホトトギス同人会長となる。龍子とは1941年に亡くなった義弟・川端茅舎の句集編集を通じ親交を深める。名刺はコロムビア時代のもの、正一郎は高濱虚子の談話の収録から俳句の世界に興味を持った。

#### ■櫻井猶司 (画商、1896-1969)

15才で三越呉服店美術部に入り、鑑賞に重きをなした展覧会を企画。後に画商・兼素洞として数々の展覧会を開催。龍子の横山大観、川合玉堂との三人展開催も櫻井が手掛けた。

#### ■高島廣勝 (三重県・養元寺住職、生没年不詳)

三重県鈴鹿市にある龍子山養元寺は、住職が龍子ファンであったことから山号を「龍子山」に改号された。寺院内には龍子が描いた天井画や《仏誕》の図、梵鐘等ゆかりの品々が残されている。

### 3. 龍子に教えを受けた画家たち

#### ■安西啓明 (日本画家、1905-1999)

龍子の最初期の弟子。1929年の青龍社創立から1966年の解散まで同社で活動している。名刺の「岩崎愛子」は、啓明の妻。愛子は神楽坂の岩崎医院の娘で、ミスニッポン候補にも選出された。

■**福田豊四郎**（日本画家、1935年に青龍社脱退、1904-1970）

龍子の最初期の弟子。新しい日本画を目指し多くの美術団体を設立した。名刺には1940年とある。

■**丸木位里**（日本画家、1938年に青龍社から離れる、1901-1995）

妻・俊との共作《原爆の図》で著名。名刺に1966年3月とあり最後の春の青龍展に訪問している。

■**藤本韶三**（美術ジャーナリスト、1896-1992）

画家を志した当初、龍子に学ぶ。美術記者となり戦中、戦後の数多くの美術雑誌の創刊に携わる。

#### **4. 同時代の作家との交流**

■**齋藤隆三**（史学者、1875-1961）

1914年の日本美術院の再興に際し、横山大観らと経営者の一人となり、常任理事となる。龍子が美術院を脱退する原因に、この人物との確執があったと伝えられる。

■**山口蓬春**（日本画家、1965年文化勲章受章、1893-1971）

帝展、日展で活躍した日本画家。龍子が1959年に龍子が文化勲章を受章する際には、文化審議会委員として龍子を推薦している。名刺には、1957年3月来訪と記入がある。

■**棟方志功**（版画家、1903-1975）

1956年ヴェネツィア・ビエンナーレに出品、日本人初の国際版画大賞を受賞。名刺に「棟方宅にて」と記入された後援者の工樂長三郎の名刺から、龍子と志功が引き合わせられたことが伺える。

その他にも、片岡球子（1905-2008）、中原淳一（1913-1983）、長谷川利行（1891-1940）、河井寛次郎（1890-1966）らとの交流があった。

#### **5. 同時代のスターたち**

■**九代目・市川海老蔵**（歌舞伎役者、1962年に十一代目・団十郎襲名、1909-1965）

「花の海老さま」として人気集める。1950年の歌舞伎座再建に、龍子は《青獅子》を制作。

■「時代劇六大スタア」**長谷川一夫**（俳優、1908-1984）、**片岡千恵蔵**（俳優、1903-1983）

松竹キネマ蒲田撮影所の関係者の他、多くの俳優、映画監督の名前が残されている。

その他、文士関連では人気作家・尾崎士郎（1898-1964）、坂口安吾（1906-1955）らも来訪。

#### **〇まとめ**

龍子のもとを訪れた人物は、日本画家だけではなく、幅広い業界の著名な人物が多い。今後も調査を進め、龍子の知られざるエピソードを見つけ出していく。

#### **★龍子記念館からのお知らせ**

名作展「時代を描く 龍子作品におけるジャーナリズム」3月21日（日）まで。

YouTubeで動画による作品解説の他、美術館コンサートの様子等を公開。

